

クツ…
私としたことが
内偵中に捕まっ
てしまっとは…

チツ…
全く口を割らねえ

カチヤ

カチヤ

だがこの程度の尋問なら問題はない
奴らにスキができるまで、
今は耐えるんだ…

ニャー

このままじゃ埒が明かねえな…

やり方を変えるぞ、
邪魔な衣服は剥ぎ取れ

フツ、
何かと思えば色責めか…
しかも薬に頼るとは
情けない奴らだ

貴様らのヘタクソな
手つきで私が屈服すると
思っているのか？

ズキッ

ズキッ

ハツ、言ってるよ。女

数時間後にも同じことが
言えるかな？

ズキッ

ニュキッ

しばらく後…

こいつら…
いつまで薬を
塗りこむつもりだ…

いつまで触っているつもりだ—
とか思っただな、オイ

まだまだ下準備だぞ？
シワのひとつひとつまで、
余すことなく丁寧に塗りこむぜ？

まあ俺ら
へたくソらしいからなあ。
まだまだ薬のお世話に
ならないとダメかな

カチヤッ

カチヤッ

チツッ

チツッ

チツッ

ピツッ

…

…

クツツ…
身体中がチリチリして…
もどかしい…ツ

そしてこの香…
頭が…ポーつとする…ツ
おかしくなるツ…

チリッ

むあ…

今日のところは
終わりにしてやる

ピリッ

香、気に入ってくれたみたいだな
明日まで存分に堪能してくれや

ピリッ

ツ!?
朝まで…?
ま、待てっ…ツ

ギ
ガキッ…

その夜は地獄だった。

身体はじんわりと温かく、山芋を直接触れたときのような
むず痒さが一晩中身体を包んでいた。

そして奴らが塗りこんだ薬は遅効性のモノであつたようだ。
時間が経過するごとにむず痒さはより強く、
そして身体のより深くにまで侵食してきた。

香はひどく甘つたるい、キツイ匂いだった。

だが嗅ぐほどに思考蕩けて強く男を求めるようになり、
身体感覚はより研ぎ澄まされていった。

己の快樂のために一心に男を求める淫らな女に
身も心も堕ちていく、情けない自分がそこにはいた。

翌日

どうだ？身体の調子は…
大事なところ、乱暴に
いじくりまわされたいんじゃないか？

そうかー。
ならまだ薬が
全然効いてないみたいだなー。
困ったなー。

ビクッ
ビクッ
ビクッ

たーい
たーい
たーい

ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ

ん
ん
ん

ビクッ
ビクッ
ビクッ

じゃあ、
もつと強くて効果の早い
薬を使うしかないか！

この薬、
昨日使ったモノより
20倍強力なんだぜ？

辛いかな？
やめてほしいかな？

じゃあ、今から教える言葉を
言ってもらおうかな？
一言一句漏らさず、正確に、ね。





わたしッ…をッ…

…ッ…
…せッ…

あ？
聞こえねえよ全然

おっ…
かせっ…ッ

何それ？
教えた言葉と
全く違うんだけど？



私はもう体がうずいてうずいて、
男に犯されたくてたまりませんッ！

このどうしようもない変態女を、
皆様方の手でぐちやぐちやに
犯じつぐしでぐださいツツツツ！

おー、分かったよ

じゃあお望み通りに
してやるよ

うおっ…
でっけえ…

汗と湿気で蒸れて…
すげーことに
なつてやがる…

ドキッ♥
グキッ♥

お前のお望み通り…
ぐちゃぐちゃにしてやるよ…





おらっ！

ハッ

クッ

クッ

クッ

やべえ…
指に吸い付いてくる…

なにっこのかんかくッ♡

胸の先っぽがつ…熱いつ♡

いっやっ♡

いっやっ♡

あっ♡

あっ♡

なっ…

何か出てくるッ♡





すげー勢いだな

おー、出た出た

乳噴き出しながらイクとは
とんだ変態女だな

なんで…
乳が…?

葉…か…?

なに、まだまだまだ夜は長いんだ
イカせまくって、枯れるまで
搾りつくしてやるよ

ヒッッッ

ヒッッッ

ヒッッッ
ヒッッッ

